

## 安全は 無理せず 焦らず 油断せず

「矢戸の蛇神楽」が令和5年3月、岡山県重要無形民俗文化財に指定されました。



◎「蛇押し」

蛇神楽に続き、御神体の蛇は三集落の氏子に担がれ、伝承通りのコースで本山荒神社や派荒神、神殿屋敷などを日中掛けて勇壮に引き回し、本山荒神社に奉納する。

江戸宝暦年間から新見市哲多町矢戸の只野、町、宮ノ峠の三集落が7年交代で当番組を務め伝承している。御神体の長さ10～15mの藁製の大蛇を作り、荒「蛇神楽(託宣神楽)」と「蛇押し」、3年後の「御戸開き神楽」を行う。この7年間は只野集落が当番組を務めました。

写真提供 新見市哲多町 仲田芳人様



◎「綱入れ」

荒神神楽を見守っていた御神体の大蛇は、神楽太夫らに担がれ、神殿に入ろうとして、神官と問答を繰り返す。蛇神楽(託宣神楽)の始まりの神事。

## 〔自主・自立・共働・共助〕

### 第35号 目次

新年のご挨拶 理事長 上原博史	2
新年のご挨拶 新見市長 戎 齊	2
辰年生まれの会員さん	3
事務局からのお知らせ等	4



## 新年のご挨拶

公益社団法人新見市シルバー人材センター

理事長 上原博史

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに令和6年の新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

長く続いたコロナウイルス感染症もやっと下火になったようでございますが、まだまだ安心できない段階ではなく、未だ収束の見えない段階であります。

更に昨今の市民生活は物価高騰の波が押し寄せ、我々市民生活に大きな打撃を被っているところでございます。

少子高齢化が進む新見市の人口動態を見ますと、人口減少の波は大きく、昨年一年間の減少数の表を見ますと表の間違いではないかと目を疑う様に思いました。

この調子で人口が減少しますと高齢化とあいまって、近い将来には行政区単位では何も出来ない状態になるのは近い将来ではないで

しょうか。

その際にはシルバー人材センターを活用していただけたら良いと思います。

新見市の人口は現在で26,700人程度ですが、うち65才以上の人口は11,000人程度であり益々高齢化が進みシルバー人材センターの果たす役割は、非常に大きいものがあると思えます。

どうぞ今後シルバー人材センターをますます活用して地域に貢献していただきたいと思います。

当センターは地域の皆様に信頼され、ますます皆様に貢献出来る団体になるため、会員の増強を図り、気がるに入会が可能になるように規約の改正を行いました。

一人でも多くの会員さんの入会を頂き、シルバー人材センターがますます発展する事を祈念して新年の挨拶いたします。



## 新年のご挨拶

新見市長

戎 斉

明けましておめでとうございます。

会員の皆さま方には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

また、日頃から、本市行政に對しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨今は、国際的な原材料価格の高騰に加え、円安の影響などから、エネルギーや食料品等の価格が上昇し、市民生活に大きな影響を及ぼしております。

本市では、市民の皆様のくらしを守るため、新見市オリジナルCOCAへに1みんポイントの付与や昨年10月からは運転免許証を所持していない75歳以上や障がい者の方を対象に、タクシー利用料金の助成事業などを実施しました。今後も地域で安心して暮らしていけるよう支援を継続してまいります。

シルバー人材センターの皆さまには、地域社会の活性化のため広くお力添えをいただいております。今後もさらに多くの方に入会していただき、生きがいづくりや長年培われた知識、能力、技術を存分に発揮され、また会員相互の交流を深めながら、活動の拡充を図られることをご期待申し上げます。

本年も、本市の課題解決に向けて、あらゆる事業が相乗効果を生みだし、好循環となるような施策展開を図り、持続可能で安全・安心な魅力ある新見市をつくるため取り組んでまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新見市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員皆さま方のご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 謹賀新年

令和六年 元旦

## 本年もよろしくお願いたします

◆副理事長

平田 功

◆理事

赤木 善行

◆理事

田中ひろ子

◆監事

大本 正治

◆常務理事

安藤 暢重

赤坂 増夫

西村 恵子

小川 節雄

伊藤 敏治

林 節子

小川 節雄

小川 博之

藤井 芳和

職員一同

## 辰年生まれの会員さん

二〇二四年辰年生まれの会員さんは、六十歳の方が0名、七十二歳の方が九名、八十四歳の方が六名、合計十五名いらっしゃいます。今回は、二名の方にご協力戴いて年頭の所感をご紹介します。

小川 洋子

新春の御喜びを申し上げます。

私は、昭和二十七年のたつ年生まれで、

今年七十二歳になります。

会員は令和三年からになります。主に水道検針をしていますので、他の会員さんと会う機会はほとんどありません。検針は毎月四六五件前後です。大体三日間ぐらいです。

昨年、緑内障の手術をしました。

退院後は二週間運転禁止となり、水道検針があやうくなりましたが、知り合いの会員さんに運転していただき、業務を終了することが出来ました。大変

感謝しております。私も必要な時には協力したいと思っています。

今年も健康に気をつけて、検針業務を続けていこうと思っています。

坂本 行雄

皆さん 新年明けましておめでとうございませう。

私は辰年生まれで、

今年八十四歳になります。平成十七年十月に入会して十九年目になります。

先に弟が入会しており、話を聞いて私も入会しました。先輩会員さんのご指導とシルバーの「剪定講習会」等で

## 「スマホ講座」

令和5年6月27日

西方公民館にて

会員及び一般市民の希望者三十名が、スマホの基本的な内容や操作を学びました。

※二月五日(月)カメラの入門編・アプリの基本編を学ぶ講座を開催しますので、ご希望の方は申し込みをお願いします。



たり、家庭菜園で野菜を栽培したりするの私の生きがいです。最後になりましたが、健康管理をしっかりして頑張っていきたいと思っています。

シルバー人材センター会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りします。

## 「樹木剪定講習会」

令和5年11月7日

哲多支局の前庭にて

平田功会員・笠原猛会員二人に講師をお願いして、松・サツキ・キンモクセイ等を剪定しました。女性三名を含む約十名が熱心に取り組みました。



# 「シルバー人材センター 事業普及啓発促進月間」

公益社団法人新見シルバー人材センターでは「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の活動に合わせ、例年十月にボランティア活動を行ってきました。

平成十八年から続けているボランティア活動で十七回目。市民の憩いの場をきれいにしようと、会員と職員三十名が参加して念入りに城山公園の剪定・草刈り・落ち葉集めなどのボランティアを行いました。

準備体操で体をほぐした会員らは、手分けして公園内に散らばりサッキ・ドウダンツツジ・タマツゲの剪定、遊歩道や法面の草刈り、芝生の枯れ草を抜いたりと精を出しました。



## ボランティア活動

令和五年十月十九日

# 事務局 からの お知らせ

## 配分金支払証明書

令和五年一月から令和五年十二月までの間にお支払いしました配分金の支払証明書を、一月二十五日ごろまでに会員さん宛に送ります。

配分金は、税法上で雑所得として扱われますので、必ず確定申告や市・県民税の申告をして下さい。その場合に、配分金支払証明書が必要です。

## 編集後記

皆様あけましておめでとうございませう。

昨年、シルバー人材センターの仕事、お疲れ様でした。

本年も皆様が「無事故・無災害」でありますように次の事を考えてみたいと思います。

「危険予知トレーニング」というものがあります。これをローマ字にしてその頭字を取って「KYT」といいます。

机上では、例えば、無信号交差点の状況の写真や絵を示して、どんな危険が潜んでいるか箇条書きにして、それに対していかにしたら危険が回避されるかを考えて書き出します。

この様な事を交通はもとより、色々な状況の絵や写真で繰り返して行います。この机上訓練を行えば行うほど、実際の現場において、非常に役に立ちます。

これが、色々な現場では「危険予知活動」「KYK」になります。一人では自身で、何人かのグループではお互いに話し合っ進めていくようになります。

自動車の運転は、無意識に「危険予知活動」の繰り返しだといわれています。

実際の現場、例えば、何人かで草刈りに行ったとします。

班長さんの元、現場で一番にミーティングをされます。この時「お互いに距離をとろう」とか、「あそこは傾斜があるから、滑らないよう気を付けよう」等と意見を出し合っ、安全に作業をする、これが「危険予知活動」です。

皆様、本年はこの「危険予知活動」を大いにして、事故や災害のない一年にしようではありませんか。

寒い時期には風邪などひかれませぬように、又暑い時期には熱中症等ならないように、健康には気をつけましょう。

## 謹賀新年



◆編集委員◆

本年もよろしく  
お願いします

委員長 金本 保孝  
委員 藤井 芳和  
委員 新持 普美子  
委員 佐々木 泉

## シルバーにいみ 第35号

—会報…ほほえみ—

発行日・2024年1月20日

編集発行  
公益社団法人  
新見市シルバー人材センター  
住所：〒718-0011  
新見市新見1201番地  
温故館内  
TEL. 0867-71-2134  
FAX. 0867-71-1134



この印刷の一部には水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。本紙は環境にやさしい植物油インキ・再生紙を使用し環境保全に努めています。